

中 一 乗合 開

2017年(平成29年)10月23日(月曜日)



再開発事業終了後の街並みをイメージした模型について説明する渡辺豊博専務理事(右)=三島市内で

## 模型で再開発街並み

三島のNPO制作 市民判断材料に

CGも

三島市がJR三島駅前東街区で計画しているNPO法人「グラウンドワーク三島」が、事業終了後の再開発事業の延期を求めていたん計画を延期して議論を尽くすよう求めている。渡辺豊博専務理事は「市は急いで街並みをイメージした模型とコンピューターCGを作った。二十八日にセミナーを開きPRする。模型は五百分の一サイズで、JR三島駅南の中心市街地を再現。再開発で建設される高層マンションや商業施設の部分は、市が公表した資料を基に制作された。CGでは駅上空や駅前の通りなどからの眺めを示した。建築の専門家らの協力を得た。

島は「再開発には数十億円の費用がかかるが、中心市街地の活性化につながるかどうかは不透明」だとして、いったん計画を延期して議論を尽くすよう求めている。渡辺豊博専務理事は「市は急いで物事を進めようとしている。市民に冷静に判断してもらう材料を提供したい」と話す。二十八日のセミナーは三島市民生涯学習センター(大宮町)で催す。模型とCGの展示や事業の概要を説明した後、参加者と意見交換する。午後二時から二時間で、参加無料。十一月上旬からは延期を求める署名活動を行い、市に提出する。

グラウンドワーク三島